

視察報告書

平成28年10月6日

倉吉市議会議長
高田 周儀 様

倉吉市議会
議員 福井 康夫 印



次のとおり「倉吉を元気にする会(三会派・新政会・公明党グリーン共同・共産党)」にて行政視察を行ったので、その結果を報告します。

記

- 1.日 時 平成28年10月3日(月)～5日(水)
- 2.視察先 明石市 「やさしい手」
横浜市 「芙蓉苑」
東京都港区 三菱UFJ&リサーチ
- 3.視察者 福井康夫議員他8名 高田周儀・伊藤正三・由田隆・山口博敬議員
鳥飼幹男・坂井徹・朝日等治・佐藤博英議員
- 4.面会者 やさしい手・中村徹也支社長ほか担当者 芙蓉苑・小林央施設長ほか担当者
三菱UFJ・岩名礼介中央大学客員教授ほか担当者
別添名刺のとおり
- 5.視察の目的
★「やさしい手」の24時間巡回型訪問介護の取組みについて調査
★特老「芙蓉苑」介護用ロボットの取組みについて調査
★三菱UFJリサーチの24時間訪問介護の実態調査について 意見交換
- 6.視察内容及び感想

第一 明石市「やさしい手」

在宅介護を柱として、これからの定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの提供者として全国で取り組みを展開している。一定の所得が必要！

第二 特老「芙蓉苑」

介護ロボットの導入は、介護者の労働軽減になるということだけでなく、高齢者の癒しや、認知症の方たちの安らぎとなる。介護用ロボット機種のパルロ(パロ)は70万円・40万円と高価という点があり、まだまだ課題がある。

(他の特徴)

在宅介護と看護の取り組みが、マッチしていかなければこの巡回型訪問介護は地域に根付かない。

さらに、地域包括支援がしっかりと、その役割を果たすべきだと感じました。

第三 三菱UFJリサーチ&コンサルティングについて

厚生労働省・定期巡回・随時対応サービスの地域特性とマネジメントについて岩名教授と意見交換！都市と地方で人口差に関わりなく圏域の利用があり、運営適正規模として、20人～30人規模が必要との報告！

(感想)

「やさしい手」運営側では、モーニングケア・ナイトケアなど介護者の確保が困難とか施設職員の資格や配置基準の緩和が必要と感じられた。

(他の特徴)

「やさしえ西明石」は在宅介護の対象施設であるが、やはり入居費用は15万円から20万円以上となり、サービス付き高齢者住宅同様課題は感じられた。

また、岩名教授からは、介護施設だけでなく医療機関の役割と、行政の指導の必要性が強調されました。

7.添付書類① 倉吉を元気にする会 行政視察 資料

- ② 面会者 名刺等
- ③ 視察先の写真
- ④ 明石市「やさしい手」に関する資料
- ⑤ 横浜市特老「芙蓉苑」に関する資料
- ⑥ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング定期巡回マネジメント資料等

要した経費：8人合計604,910円